

令和8年度 入学式 式辞

桜の花が満開に咲き誇り、春らしさが感じられる今日、この良き日に、多くのご来賓の皆様、そして保護者の皆様のご臨席を賜り、令和八年度 大阪市立田辺中学校 入学式を挙行できますことは、本校にとりましてこの上ない喜びでございます。高いところからではございますが、厚く、お礼申し上げます。

二二九名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうでございます。教職員一同、心より歓迎いたします。皆さんの引き締まった表情から、新しい生活への期待と決意が伝わってきます。

実は、私自身もこの四月に、この田辺中学校に着任したばかりです。皆さんと同じ、いわば「田辺中学校の一年生」です。皆さんと同様、伝統あるこの学校の門をくぐる時、背筋が伸びるような緊張感と、これから始まる毎日への大きな期待で胸がいっぱいになりました。今日から皆さんと共に学び、共に歩いていけることを、本当に嬉しく思っています。

さて、皆さんが今日通り抜けた校門のすぐ横に、大きな石碑があるのを知っていますか。そこには、本校が八十年の歴史の中で大切にしてきた精神、「協力一致（きょうりょくいちち）」という四つの文字が深く刻まれています。

皆さんは、記念すべき「第八十期生」です。この節目にあたり、私は皆さんに、田辺中学校が掲げる三つの「めざす生徒像」を通して、皆さんに期待することを伝えます。

一つ目は、「自ら学び、創造する生徒」です。中学校での学びは、答えのある問題を解くだけではありません。皆さんの心の中にある「なぜ?」「もっと知りたい!」という好奇心を大切にしてください。教科の学習はもちろん、行事や部活動を通じて、自分たちで新しいものを作り出し、未知のことに挑戦する。自ら問いを立て、自分なりの答えを創り出す楽しさを、この田辺中学校で存分に味わってください。

二つ目は、「元気でたくましい生徒」です。これから始まる新しい生活では、うまくいかないことや、悩むこともあるでしょう。しかし、どうか安心してください。失敗は恥ずかしいことではありません。むしろ、失敗の中にこそ、次の成長へのヒントが隠されています。心と体の健康を大切にしながら、失敗を恐れず、何度でも挑戦する。この学校は、皆さんが安心して試行錯誤し、「たくましく」立ち上げられる場所であることを約束します。

三つ目は、「思いやりのある生徒」です。これは、石碑にある「協力一致」の原点です。協力一致とは、単に仲良くすることだけではありません。一人ひとりが異なる個性、異なる強みを持ち寄り、互いの違いを認め合い、誰かのために自分の力を使うこと。それが本当の「思いやり」です。隣にいる仲間を大切に聴ける、そんな温かい人になってください。

これら三つの姿を追い求めることで、皆さんの心には、これからの時代を力強く生き抜くための「生きる力」がしっかりと根付いていきます。

その「生きる力」の源となるのが、私が皆さんに最も大切にしてほしい言葉、『『好き』を育み、『得意』を伸ばす』ということです。

自分が「面白い」と感じることに会ったとき、人は爆発的に成長します。部活動、教科の学び、趣味、どんな小さなことでも構いません。自分の「好き」を大切に育て、その中で見つけた「得意」を一生懸命に伸ばしてください。一人ひとりが違う「好き」と「得意」を持ち寄り、それを誰かのために活かしたとき、田辺中学校の新しい「協力一致」が完成します。

保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。

今日から三年間、私共教職員一同は、大切なお子様をお預かりし、一人ひとりの可能性を最大限に引き出すべく、誠心誠意、教育活動に邁進してまいります。学校と家庭は、教育の「両輪」です。子どもたちが迷い、立ち止まったとき、結果だけではなくその「過程」に目を向け、共に温かく見守っていただくと願っております。

結びに、歴史ある田辺中学校の第八十期生として、皆さんが三年後、「自分はこれが好きだ」「これが得意だ」と自信を持って語れるようになることを強く願い、私の式辞といたします。

令和八年四月三日

大阪市立田辺中学校 校長 古関 龍太郎